

温室効果ガス削減計画

平成20年4月

独立行政法人酒類総合研究所

	(単位)	平成13年度	平成22～24年度目標	
		基準年度		(13年度比)
公用車燃料	Kg-CO2	4,059	3,937	-3%
施設エネルギー使用	Kg-CO2	1,147,068	1,045,760	-9%
電 気	Kg-CO2	1,114,949	1,014,604	-9%
(電気使用量)	KWh	2,949,601	2,684,137	-9%
(電気の排出係数)	Kg-CO2/KWh	0.378	0.378	-
電気以外	Kg-CO2	32,119	31,156	-3%
そ の 他	Kg-CO2	0	0	-
総排出量	Kg-CO2	1,151,127	1,049,697	-8%

○ 主な削減対策

(1) 設備改修等ハード対策

- ・ 照明器具のインバーター化
- ・ 照明器具への人感センサー設置及び増設
- ・ 施設の窓への断熱フィルムの導入
- ・ エアコン室外機への遮光ネットの設置
- ・ 空調機用の省エネ型ファンベルトの導入

(2) 運転・管理等ソフト対策

- ・ 夏期期間のクールビズの励行
- ・ 施設内の照明について、昼休み消灯の励行
- ・ エレベーターの利用を控え、階段利用の励行

※ 電気事業者の変更に伴う排出係数による影響については、今後、温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約を推進することを検討していくものとする。

○ 推進体制

- (1) 対策の実施責任者は、総務課長とする。
- (2) 総務課において、毎月、電力・ガス・燃料等の使用量をもとに、温室効果ガス等の排出量及び目標達成の見込みを把握し、職員に周知する。
- (3) 総務課長は、目標達成の見込みを踏まえ、必要に応じ、設備改修等のハード対策の追加を行うとともに、職員にソフト対策の強化を指示する。